

# 2024年10月期 決算説明資料

のむら産業株式会社 証券コード 7131

# 目 次

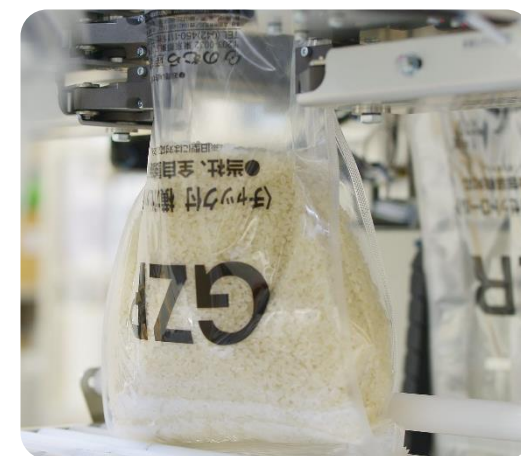
- I. 事業概要
- II. 2024年10月期 決算概要
- III. 2025年10月期 業績予想
- IV. 中期経営計画概要
- V. 株主還元
- VI. Appendix

# I. 事業概要

のむら産業グループは  
米穀包装資材・機械をワンストップで  
企画・販売する  
**米穀包装業界のトップランナー**



人々のライフスタイルの変化に対応し  
**「包む」**をキーワードに事業領域を拡大中



## 当社グループはBtoBを中心とした2つのセグメントで構成

### 包装関連事業

(%:売上構成比)

### 物流梱包事業

86%

#### 包装機械

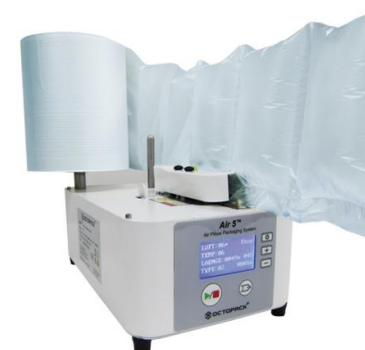
設計・製造、  
販売・アフターサービス

#### 包装資材

デザイン・印刷・販売

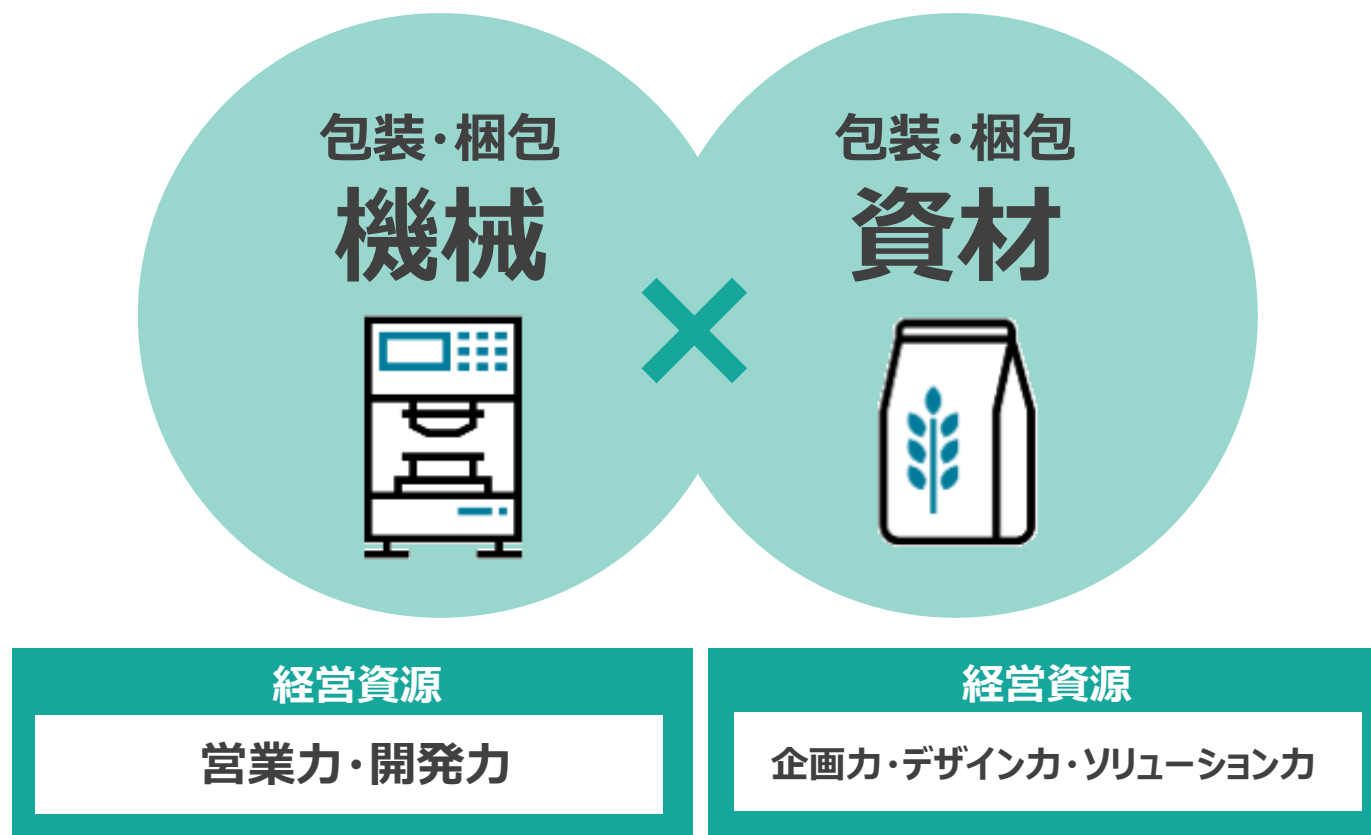
14%

販売・  
ソリューション



## 米穀包装資材・機械のパイオニア

米穀用包装資材と包装機械の両方を手掛けニッチ領域で事業を展開



## II. 2024年10月期 決算概要

## 堅調な需要により大幅増収・増益

包装関連、物流梱包の2事業ともに、前年以上の売上達成

### 売上高

**6,612**百万円

前期比：＋**10.7**%

### 営業利益

**505**百万円

前期比：＋**12.8**%

### 親会社株主に帰属する 当期純利益

**339**百万円

前期比：＋**16.8**%

### セグメント別売上高

#### 包装関連事業

**5,662**百万円

前期比：＋**11.5**%

#### 物流梱包事業

**950**百万円

前期比：＋**6.5**%

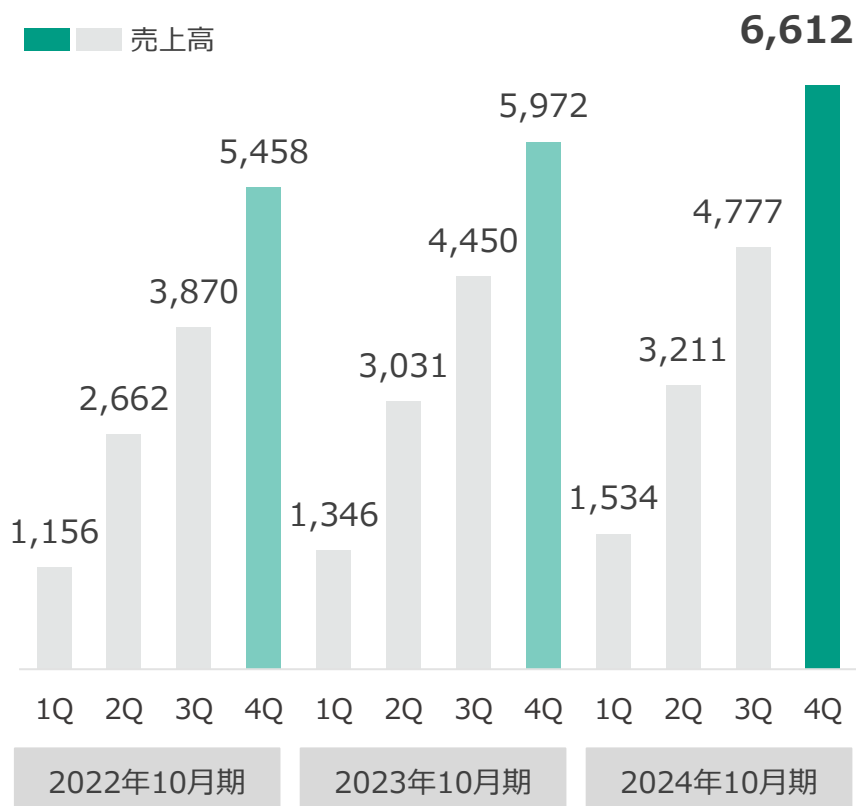


米の備蓄需要の高まりにより包装資材が好調に推移  
期初の減益計画から一転し、営業利益は前期比+12.8%増の2桁増益に

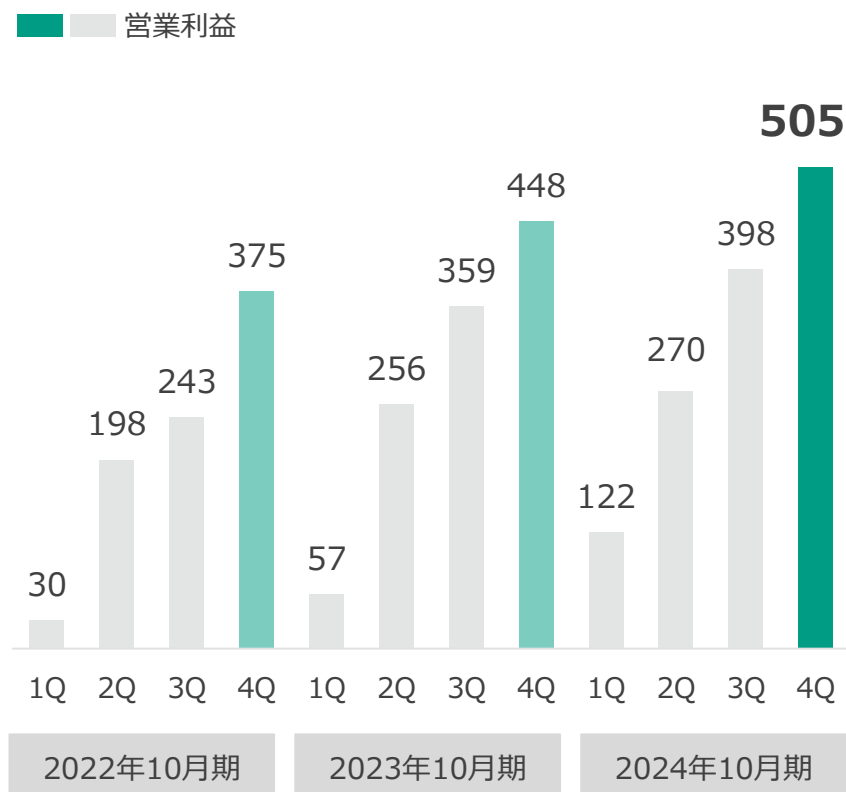
単位：百万円	23/10期決算		24/10期決算				前期比	
	実績	利益率	実績	利益率	2024/9/13開示 上方修正後 通期計画 (期初計画)	達成率	増減額	増減率
売上高	5,972	—	6,612	—	6,502 (6,269)	101.7%	+639	+10.7%
売上総利益	1,546	25.9%	1,666	25.2%	—	—	+120	+7.8%
営業利益	448	7.5%	505	7.6%	493 (407)	102.5%	+57	+12.8%
経常利益	446	7.5%	510	7.7%	499 (394)	102.4%	+64	+14.4%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	290	4.9%	339	5.1%	320 (246)	105.9%	+48	+16.8%

## 全四半期において前年同期比で増収増益で推移

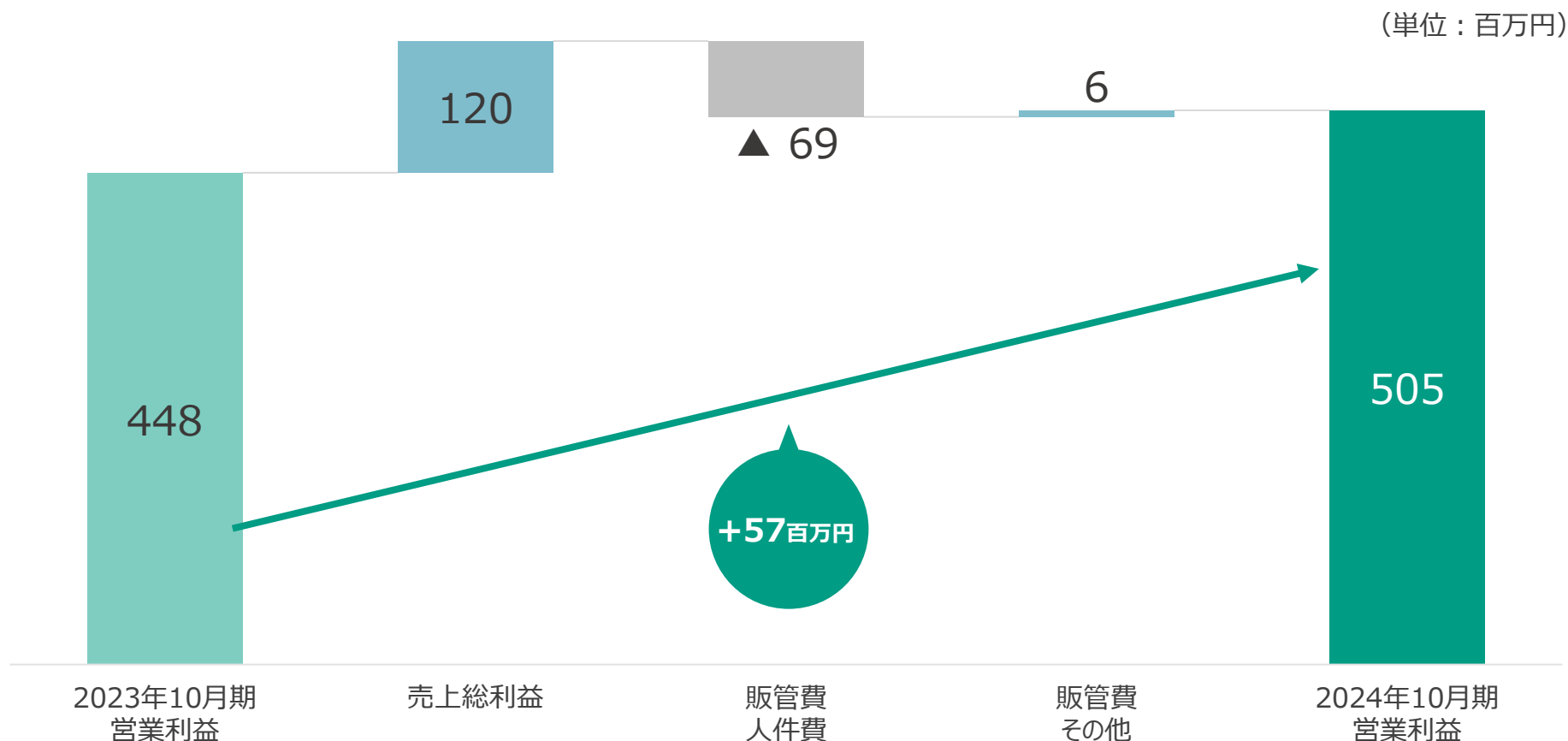
### 売上高（百万円）



### 営業利益（百万円）



## 包装資材の販売好調により売上総利益が増加 営業利益は前年同期比で57百万円の増益



## 包装関連事業

### 増収増益を達成

包装資材 | 令和のコメ騒動による備蓄意識の高まりにより、**一般家庭向けの販売が好調に推移**

包装機械 | 更新需要もあり、堅調に推移。新たなニーズ獲得の営業活動にも注力

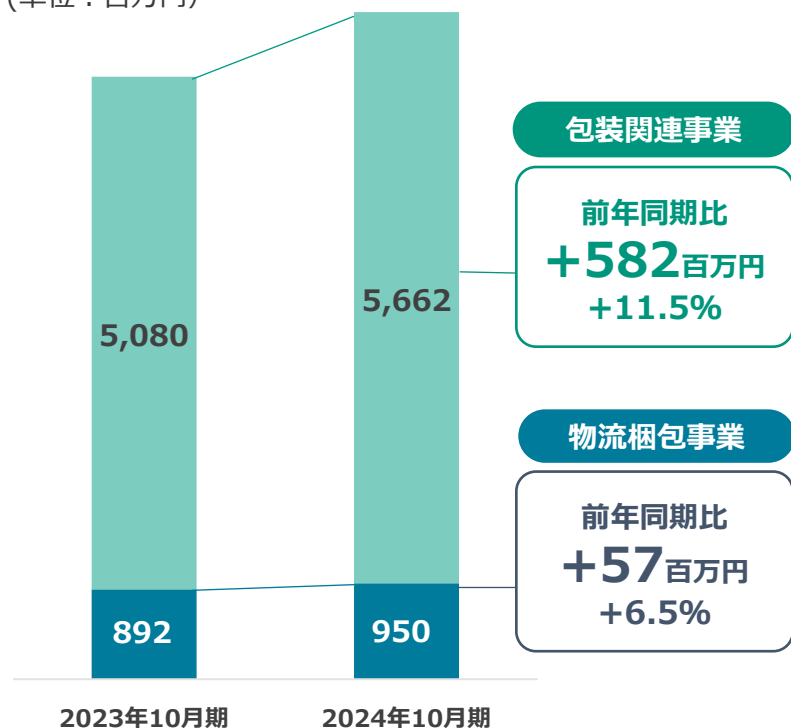
## 物流梱包事業

### 増収増益を達成

ネット通販市場拡大による需要増および、脱プラスチックの風潮に沿った**環境配慮型商材の拡販**などを中心とした**提案型営業**により新規顧客の獲得が寄与

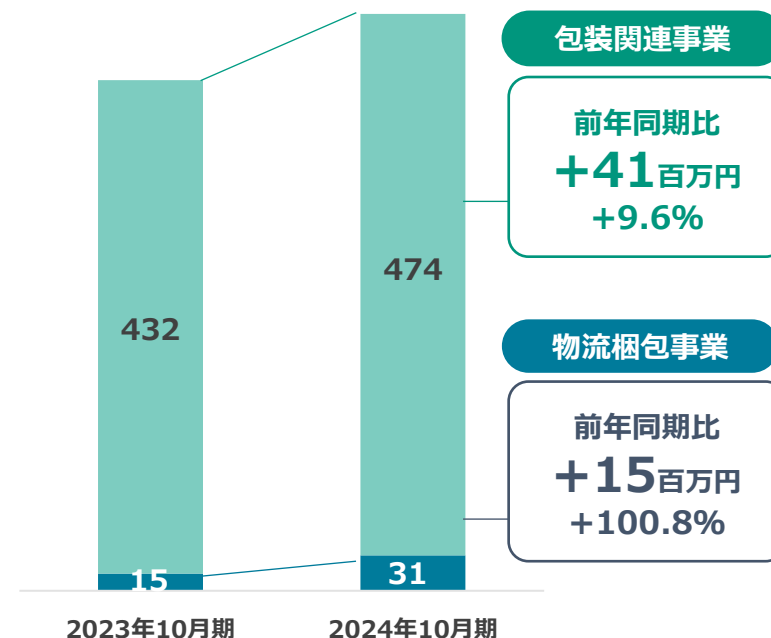
## 売上高

(単位：百万円)



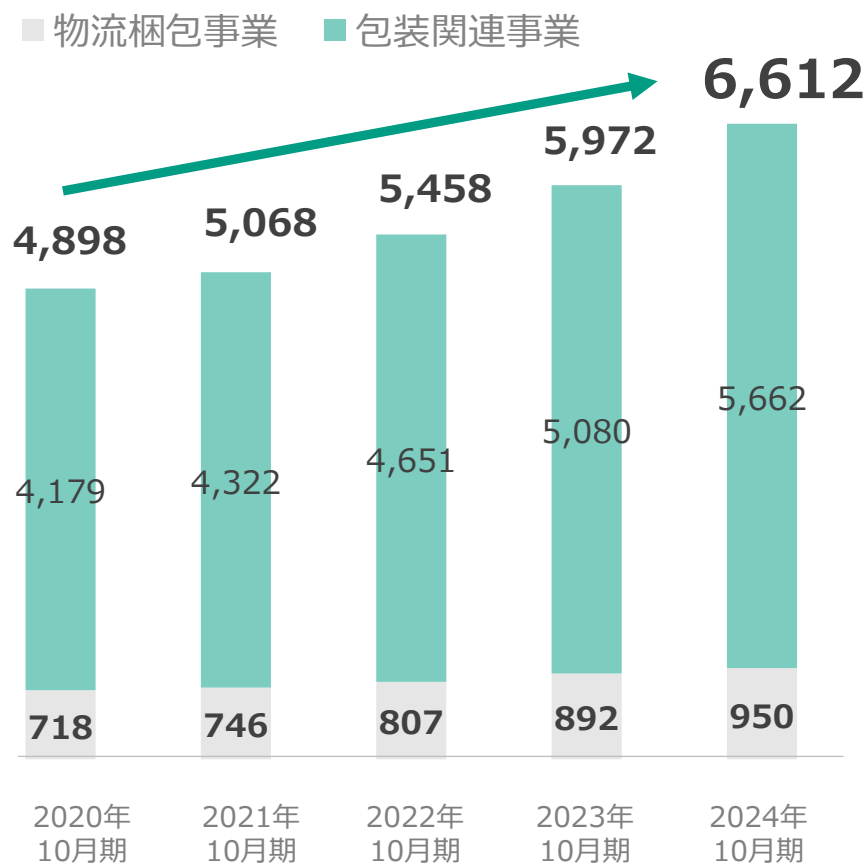
## セグメント利益

(単位：百万円)

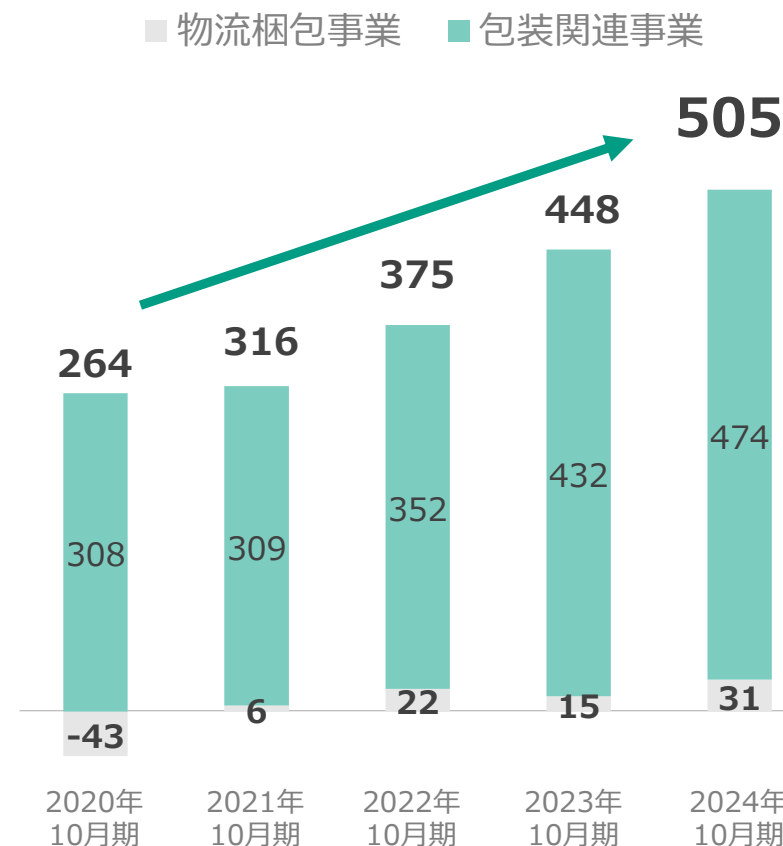


## 売上高・営業利益ともに過去最高を達成 着実に業績を拡大中

### 売上高（百万円）



### 営業利益（百万円）



(単位：百万円)	23/10期	24/10期	増減額	主な増減要因
総資産	3,775	4,113	+338	主に現預金、売掛金の増加
負債	2,130	2,201	+71	主に未払法人税等、未払消費税等の増加
純資産	1,644	1,912	+267	主に親会社株式に帰属する当期純利益の計上

(単位：百万円)	23/10期	24/10期	増減額	主な増減要因
営業CF	450	479	+28	税金等調整前当期純利益 510 売上債権の増加 ▲314 棚卸資産の減少 188
投資CF	▲42	▲62	▲19	固定資産の取得 ▲60
財務CF	▲196	▲209	▲13	長期借入金の返済 ▲124 配当金の支払 ▲68
現金及び現金同等物の 期末残高	1,255	1,462	207	

## Ⅲ. 2025年10月期 業績予想

包装資材を中心とした好調な業績を継続すると同時に  
重点施策の着実な実行により増収・増益を目指す

(単位：百万円)	24/10期 (実績)	利益率	25/10期 (予想)	利益率	前期比	
					増減額	増減率
売上高	6,612	—	6,700	—	+87	+1.3%
売上総利益	1,666	25.2%	1,713	25.6%	+46	+2.8%
営業利益	505	7.6%	544	8.1%	+39	+7.8%
経常利益	510	7.7%	544	8.1%	+33	+6.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	339	5.1%	352	5.3%	+12	+3.8%
1株当たり当期純利益 (EPS.単位:円)	256.54	—	266.37	—	+9.83	+3.8%



(単位：百万円)		24/10期	25/10期	前期比		概要
		実績	予想	増減額	増減率	
売上高	包装関連事業	5,662	5,800	+137	+2.4%	
	物流梱包事業	950	900	▲50	▲5.3%	大手通販会社でサステナブル商材への変更に より一時的な減収を見込む
	合計	6,612	6,700	87	+1.3%	
営業利益	包装関連事業	474	486	+12	+2.6%	
	物流梱包事業	31	58	+27	+87.4%	25年期の途中でのれん償却終了などにより 大幅増益
	合計	505	544	+39	+7.8%	

※セグメント別の営業利益は、のれん償却費及び販管費等の配賦等を調整したセグメント利益を記載しております。

## 包装関連事業

## 包装資材

売上高 (百万円)

3,231

3,713

(計画)  
3,960前期比  
+247百万円  
(+6.7%)

2023年10月期 2024年10月期 2025年10月期

## 25年10月期見通し

- 前期の令和のコメ騒動に伴う特需の影響が上期も続く見通しなことから前期比6.7%増の見込み

## 重点施策

- ①既存顧客へのソリューション営業の実践
- ②新商品の開発と市場投入のサポート
- ③品質維持とアフターサービスの充実
- ④西日本市場での売上・利益の拡大を目指す

## 包装機械

売上高 (百万円)

1,532

1,750

(計画)  
1,560前期比  
▲190百万円  
(▲10.9%)

2023年10月期 2024年10月期 2025年10月期

## 25年10月期見通し

- 前期、前々期はコロナ禍期間中のバックストックや大型案件の受注があったが、今期はコロナ禍前の水準に戻るため、前期比で減収の見込み

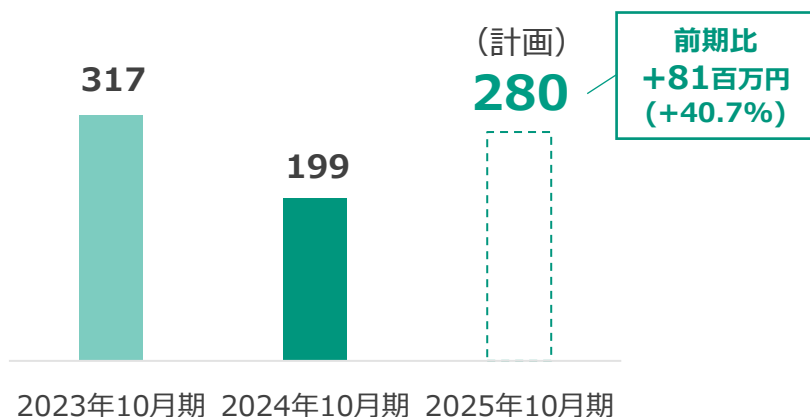
## 重点施策

- ①アフターサービス体制の維持向上の推進
- ②新製品販売強化  
鮮度保持パッカーを重点的に販売

## 包装関連事業

## 新市場

売上高 (百万円)



## 25年10月期見通し

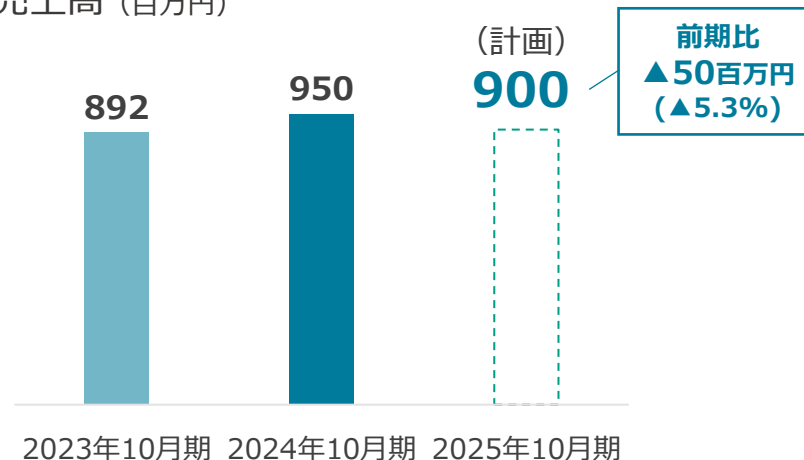
- 米穀市場以外への販売促進を展示会への出展などを活用し、新市場への導入を加速化させる計画

## 重点施策

- ①新市場の開拓推進
- ②成功要因の抽出と横展開
- ③ワンストップソリューションの強化

## 物流梱包事業

売上高 (百万円)



## 25年10月期見通し

- 大手通販会社が環境に配慮した低コストの梱包資材にシフトすることにより一時的に減収の見込み
- 25年10月期は減収になるものの、脱プラや紙資材への関心の高まりから新規契約は増加中

## 重点施策

- ①新商材を活用した紙緩衝材の販売競争力強化
- ②リサイクル商材など環境配慮型商材の拡販
- ③展示会などを活用した新規開拓の推進

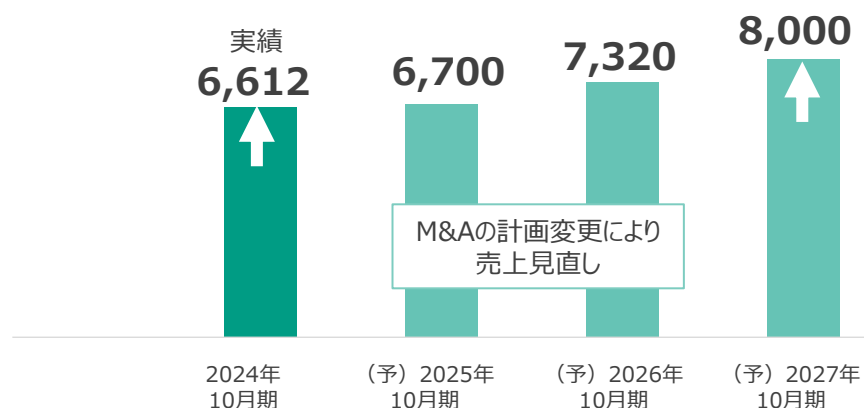
## IV. 中期経営計画概要

# 米穀包装業界を牽引するとともに、新市場への進出を加速化し、 3年後に売上高80億円、営業利益6.5億円超を目指す

## 売上高

(百万円)

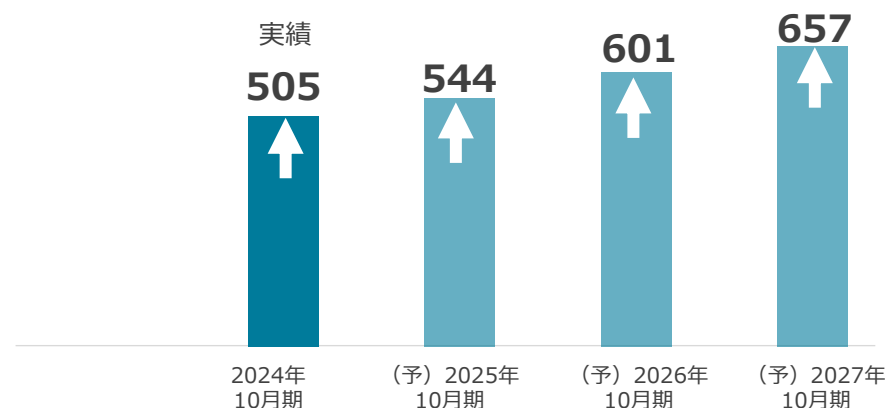
2024年10月期比 **約1.2倍の80.0億円**



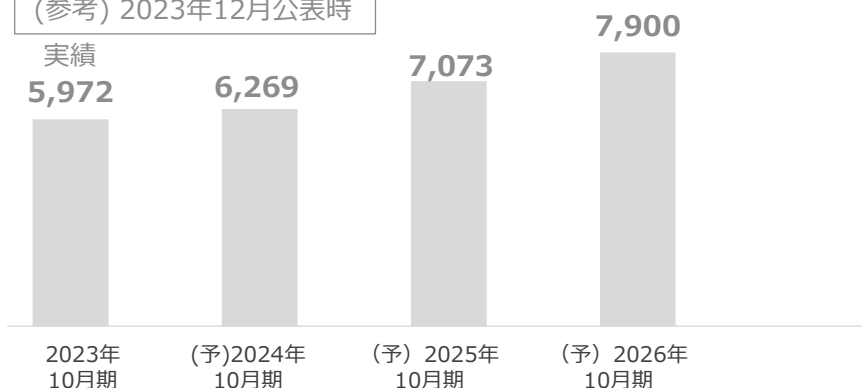
## 営業利益

(百万円)

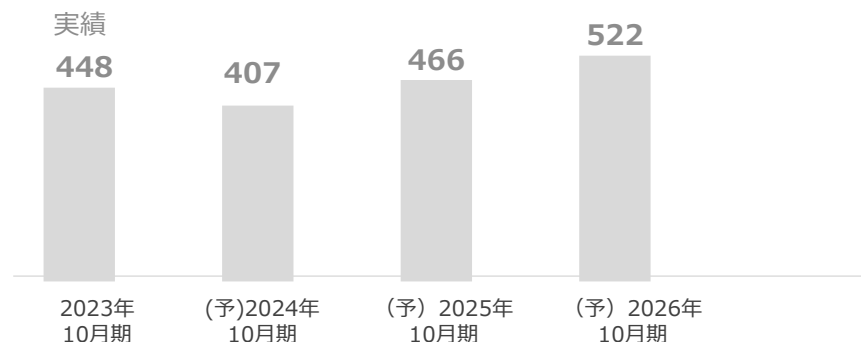
2024年10月期比 **約1.3倍の6.5億円**



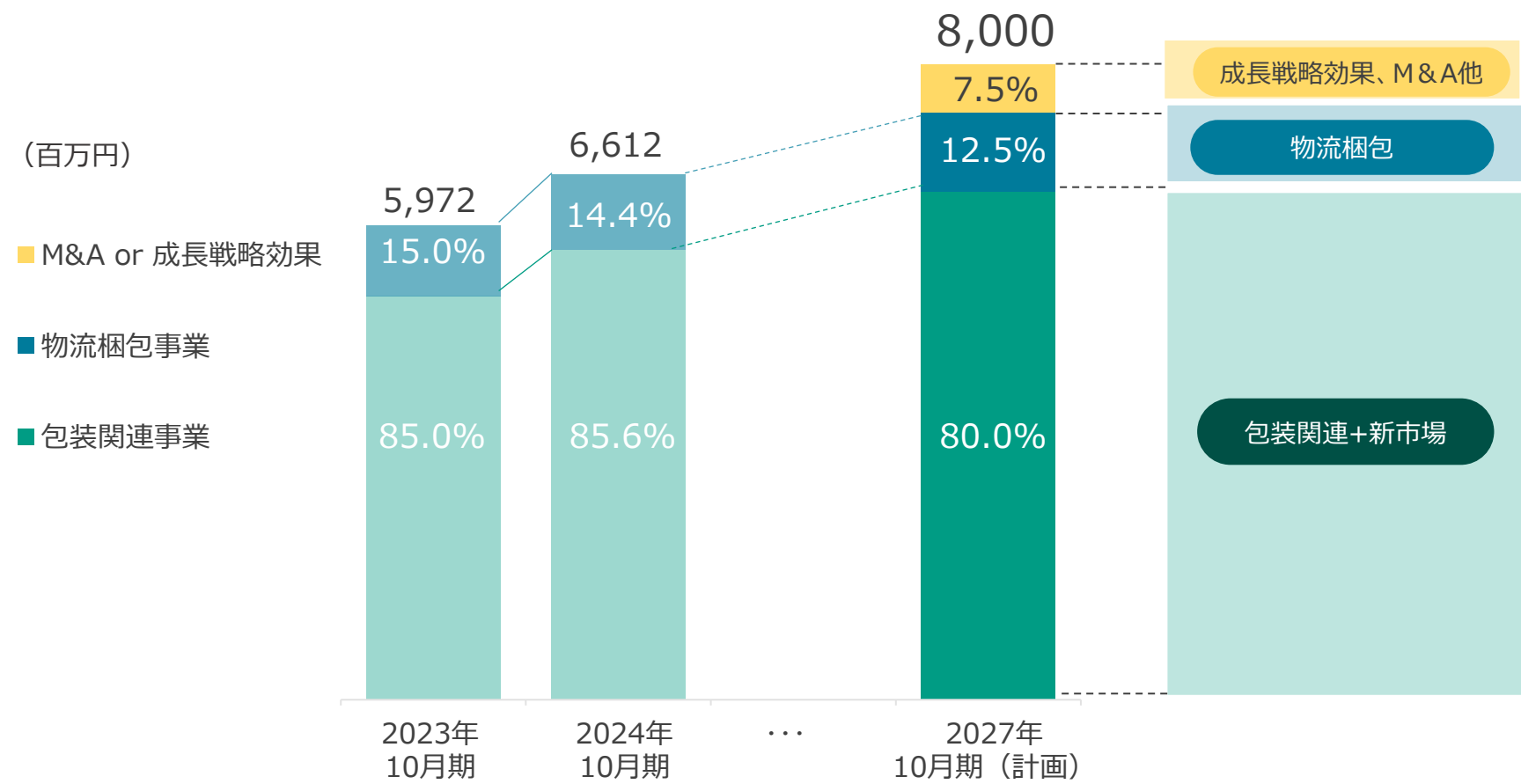
(参考) 2023年12月公表時



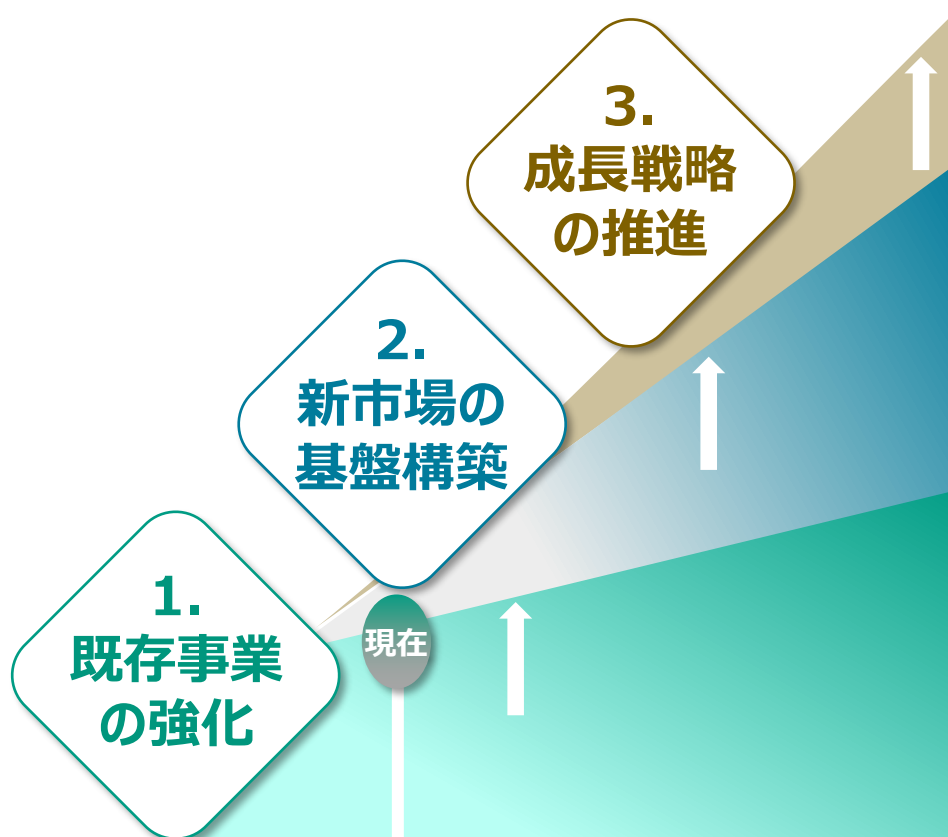
(参考) 2023年12月公表時



包装関連事業、梱包物流事業の着実な成長、  
強みを生かした成長戦略による基盤を構築



## 3つの拡大ポイントにおける重点施策を推進し、事業を拡大



- M&Aや業務提携を積極的に展開
- バランスの取れた資本政策を推進

- 米穀市場以外の新市場への販売を促進
- 導入実績の横展開など、新市場の基盤構築の加速
- 資材・設備・サービスなどの取り扱い商材の拡充・開発

- 米穀用自動計量包装機国内トップとしてシェア拡大
- 商品・サービスの開発力・提案力の強化と品質維持向上
- 海外向け売上の拡大
- 西日本市場売上、利益の拡大
- サステナブルな社会の実現に寄与し、事業規模の拡大

包装関連事業

海外向け商品の拡大にむけて

米を主食としている東南アジア諸国への販路拡大を目的に調査活動を実施

タイ王国



米生産量 日本の約**2.4**倍  
米消費量 日本の約**1.5**倍

- ・タイのコメ市場調査
- ・精米工場訪問、量販店コメ売場調査
- ・展示会（PROPAK ASIA）視察



■世界の米生産量ランキング

(千t)

1位	中国	144,500
2位	インド	104,800
3位	インドネシア	35,760
4位	バングラディッシュ	34,500
5位	ベトナム	28,074
6位	タイ	18,750
7位	ミャンマー	12,600
8位	フィリピン	11,915
9位	ブラジル	8,465
10位	日本	7,816

約**2.4**倍

■世界の米消費量ランキング

(千t)

1位	中国	147,500
2位	インド	98,097
3位	インドネシア	38,500
4位	バングラディッシュ	35,200
5位	ベトナム	22,100
6位	フィリピン	13,200
7位	タイ	11,700
8位	ミャンマー	10,550
9位	日本	7,966
10位	ブラジル	7,900

約**1.5**倍

農林水産省HPより引用（資料：日本のデータは平成26年度「食料需給表」より、その他の国・地域は米国農務省「PS&D」（10 November 2015、2014/15年の数値〈見込値を含む〉）より作成） ※注：数値は精米ベース



包装関連事業

チューブロール式計量包装機の拡販

# 「チューブロールとは」をテーマに展示会に出展

米穀以外の新市場をターゲットに当社主力商材を積極アピール

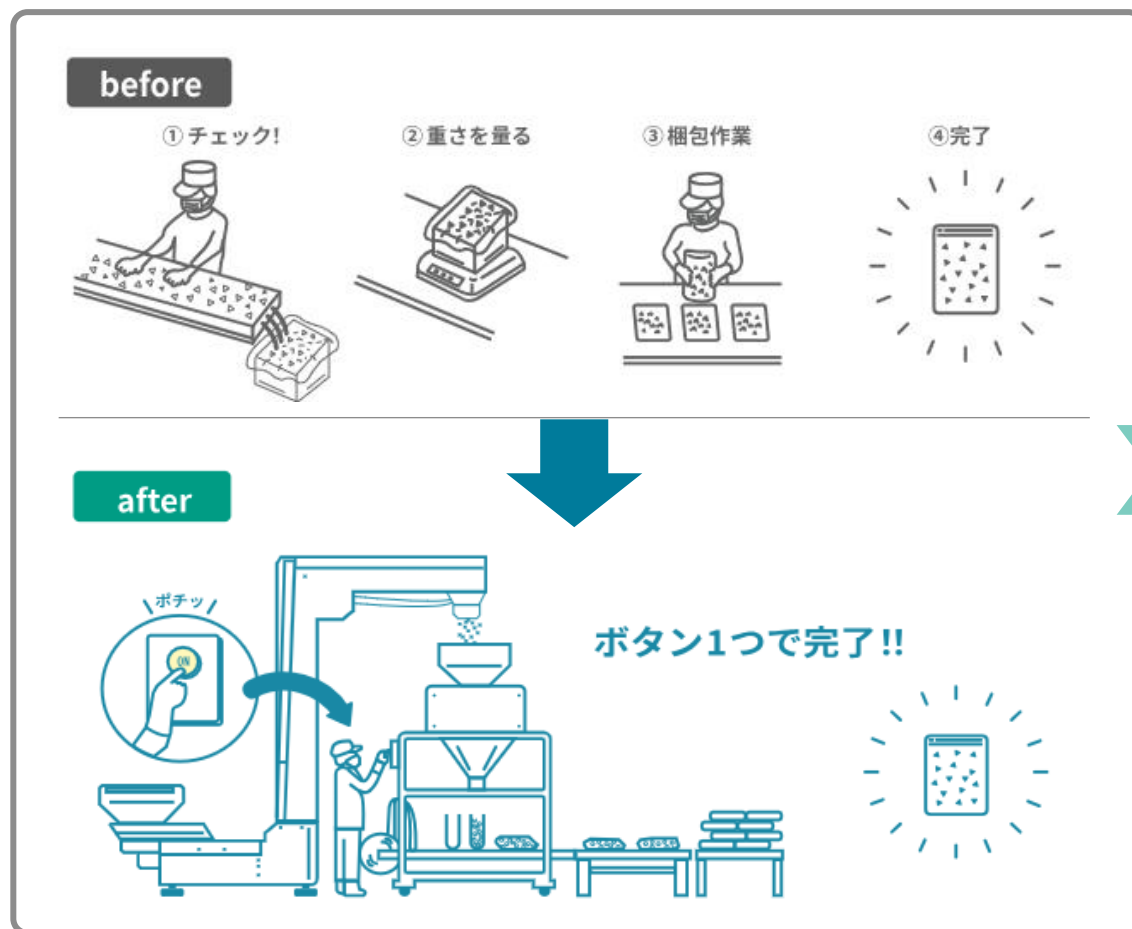


包装関連事業

米穀以外の市場に対しての販売促進

菓子製造ライン

一次加工チョコレートの計量・包装の作業をボタン1つで自動化  
さらに、開封しやすい資材の提案により計量→包装→開封までの効率化に寄与



別商品の製造ライン  
でも導入に向け  
提案中

豆類や医薬品包装関係に  
対しての営業も  
積極的に展開中

物流梱包事業

サステナブル新商材の提案促進

Before

- ✓ 段ボール箱での梱包が一般的
- ✓ プラ素材のエアキャップなどが一般的



After

- ✓ 宅配時にも破損しない堅い紙袋
- ✓ リサイクル可能な紙素材



**X-Fill™** シリーズ

- 1層クラフト紙から3次元クッション材を自動で製造
- 毎分102mのスピードで紙緩衝材を生産可能



大手通販会社での導入が順調に進行中



## 当社のサステナビリティへの取組

### 社会貢献活動

#### 東久留米市のこども食堂ネットワークへ新米を寄付

- ・ 地域社会への社会貢献活動の一貫として、当社地元の東久留米市のこども食堂ネットワークへの支援を実施
- ・ 今後も地域社会との連携を深めながら、継続的な支援をおこなっていく方針



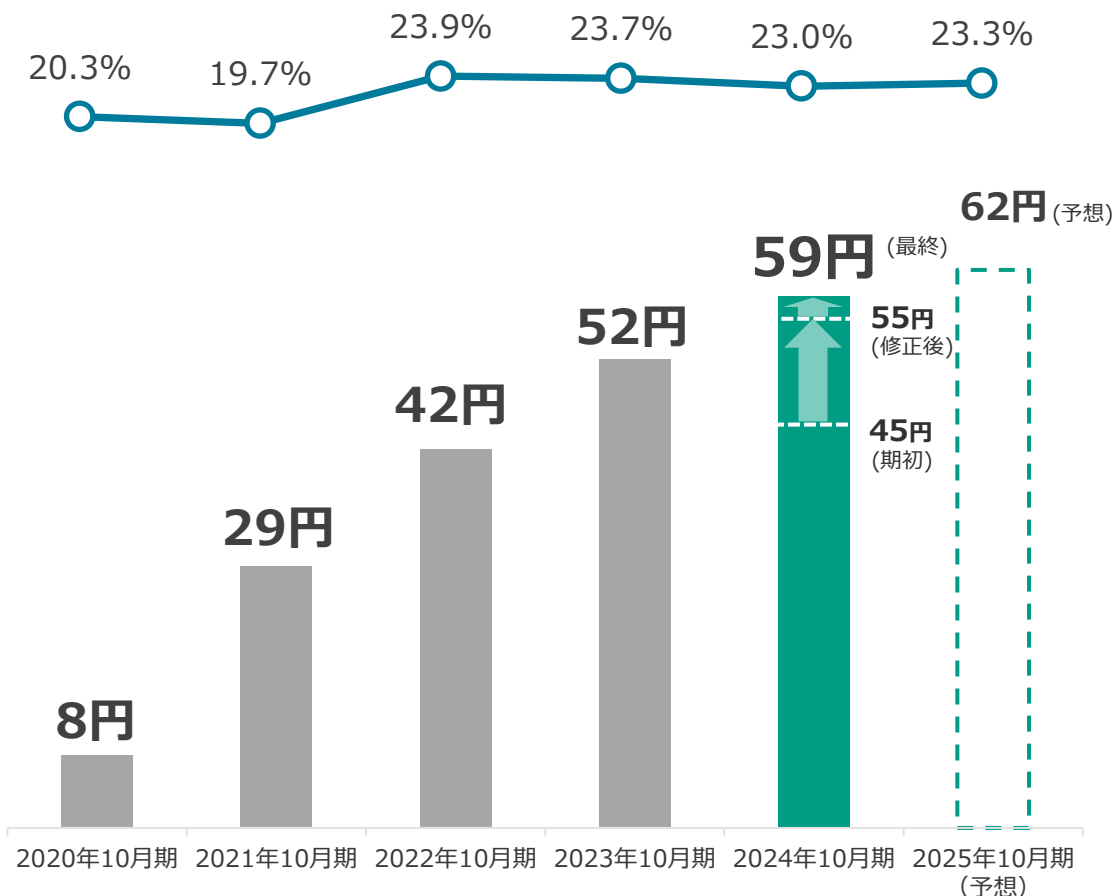
左：東久留米市社会福祉協議会 土屋事務局長  
右：のむら産業株式会社 清川代表取締役社長

## V. 株主還元

24/10期は、増額修正後からさらに**配当額を4円増額**  
前期比減配予想から**前期比7円増配へ**

基本方針

事業拡大に必要な内部留保との  
バランスを図りながら連結配当性  
向25%程度を目標としつつ、**継続  
的かつ安定的な配当を実施**



※2020年8月12日付で普通株式1株につき25株の割合で株式分割を行っており、  
1株当たりの年間配当金につきましては当該株式分割後の配当額を記載しております。



## IRサイト リニューアル

<https://nomurasangyo.co.jp/ir/>

### ✓ コンテンツの拡充

「3分でわかるのむら産業」など投資家の皆様に当社をより理解していただけるように、コンテンツを拡充しました。

### ✓ タイムリーな情報提供

「投資家向けQ&A」、「配当の状況」など、情報をタイムリーに更新していきます。

## VI. Appendix



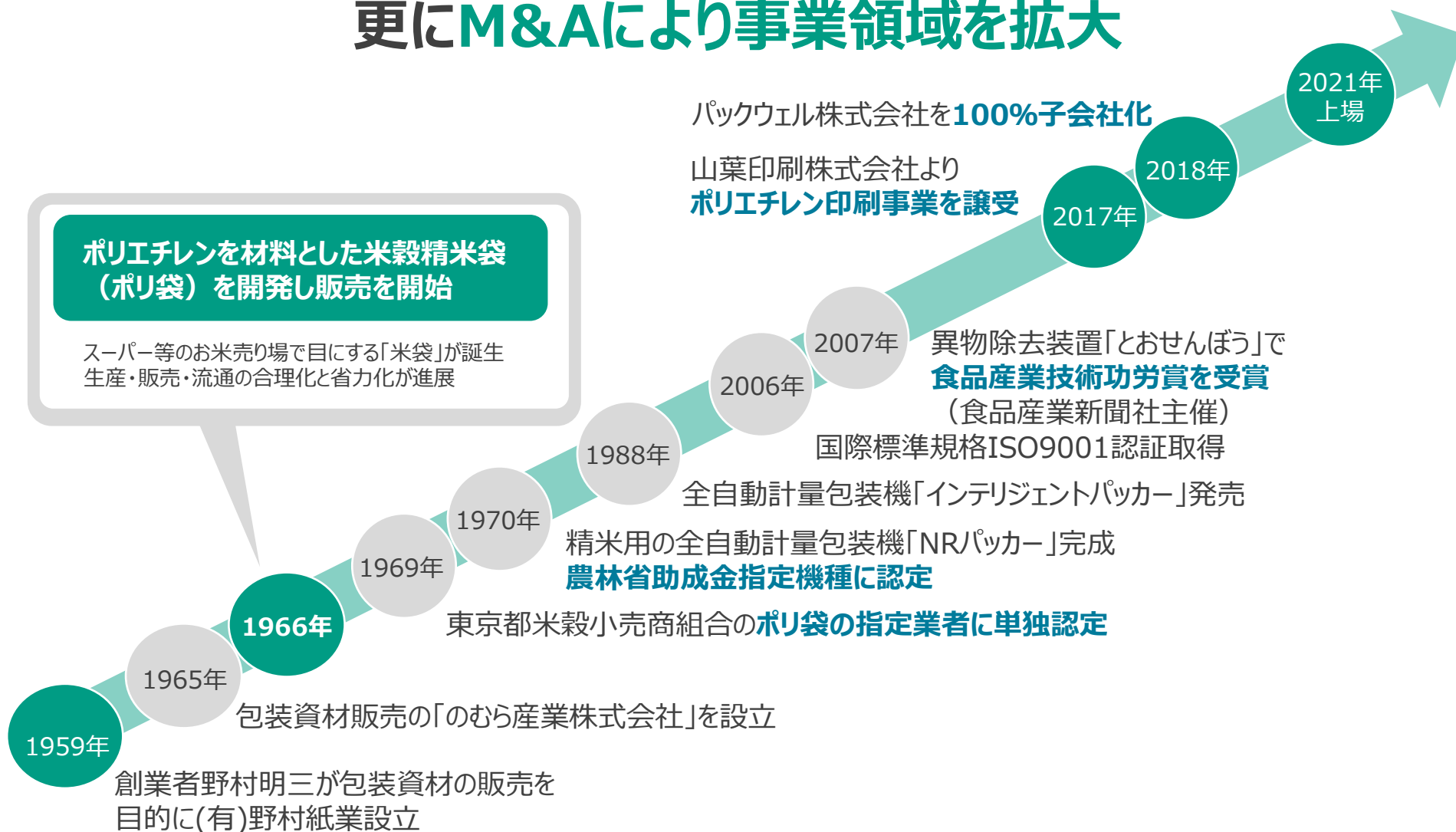
会社名	のむら産業株式会社
設立	1965年（昭和40年）11月
会社所在地	東京都東久留米市前沢5丁目32番23号
代表者	代表取締役社長 清川 悦男
資本金	80,000,000円
決算期	10月
発行済株式数	1,391,575株（自社株含む）
従業員数	111名（平均臨時雇用人員含む） ※24/10/31時点（連結）
連結子会社	バックウェル株式会社 山葉印刷株式会社 BJT JAPAN合同会社
監査法人	EY新日本有限責任監査法人
事業内容	<p>＜包装資材部門＞ 米穀精米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売</p> <p>＜包装機械部門＞ 米穀用自動計量包装機を中心とした計量包装機械の企画開発及び製造販売</p>

## 経営理念

人に優しい新技術をモットーに、  
常に使う人の身になっての  
商品づくりに努め、  
お取引先の皆様とのビジネスを通じて  
社会に貢献していきます。



# 設立半世紀を超えた米穀包装資材・機械のパイオニア 更にM&Aにより事業領域を拡大



## 当社グループはBtoBを中心とした2つのセグメントで構成

### 包装関連事業

(%:売上構成比)

### 物流梱包事業

86%

#### 包装機械

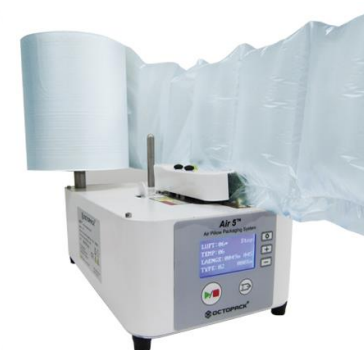
設計・製造、  
販売・アフターサービス

#### 包装資材

デザイン・印刷・販売

14%

販売・  
ソリューション



## 米袋を中心とした食品及びその他の包装資材の企画・デザイン及び販売



### 調査／マーケティング

市場調査・データ分析による  
時事に合ったトレンドを発掘



### 設計＆デザイン

要望に合ったベストなプラン  
& デザインをご提供



### 販売／納品








様々なパッケージや  
ラベルの製品

- ✓ オリジナル米袋
- ✓ チャック付サイドガゼットロール  
GZR
- ✓ 環境配慮型米袋

米穀用自動計量包装機を中心とした計量包装機械の企画開発及び製造販売

製品	パーセル HP15D	インテリジェントパッカー ネオス DSR-110	スーパーインテリジェント パッカー SIP-110	ネクサス NX-180R
				
最大の特徴	計量機と包装機が一体化			
性能	±2gの計量精度と 5袋～6袋/分の能力	1基の計量機で 10袋／分（5kg時）の包装能力	計量機2連搭載	3基の計量機で高速化を実現
操作性	マイコン自動制御で高精度な計量 と計量回数機能搭載	サイドグリップ方式で 確実に袋を保持	各機構部をユニット化し清掃・調整・メンテナンスが容易	
その他	小スペースで設置可能な コンパクトサイズ	省エネ性能で、エアー消費量、 電力消費量を削減	バーコードの読み込むだけでフィルムサイズ、計量値、 シール設定、印字位置等を自動型替え可能	

## 顧客ニーズに適した様々な包装機械・オプションなども企画・開発

異物除去機			集積包装機	
				
糠玉取機（とおせんぼう）			フレキシブルミニサッカー MS-5000H1・H2	フレキシブルオートサッカー FAS-2010BP
給袋式自動計量包装機			チューブロール袋用包装機	
				
NRP-6	ジャスティーン NKC-01A	ジャスティーン NKR-01A	PLN-400	



## 物流におけるパッケージ現場の問題解決策の提案や海外の優れた製品・資材を輸入・販売

### 包む

大切なモノを優しく包む

- エアー包装材システム
- 紙緩衝材システム
- 表面保護フィルム

### 埋める

大切なモノの隙間を埋める

- エアー緩衝材システム
- 紙緩衝材システム

### 封をする

大切なモノを運ぶため封をする

- 封かん・製函機
- ガムテープ繰出し機

#### ワレモノ専用 包装材



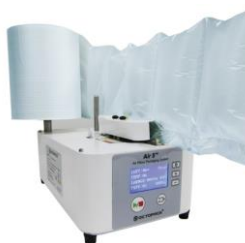
ワインボトルや薬品ボトル等、守りたい商品の形状にフィット

#### エアー包装材 システム



フィルムに空気（エアー）を注入して袋状の緩衝材を高速で製造するシステム

#### エアー緩衝材 システム



簡単操作でフィルムを縦置きにすることで最小のスペースを実現（環境にも優しいバイオフィルム）

#### 紙緩衝材システム



脱プラの風潮に適した緩衝性能の高い紙パッドタイプの緩衝材システム

#### 封かん・製函機



段ボールケースの上下面をテープ貼りする自動封かん機



マニュアル梱包の現場におけるガムテープ封かん作業効率システム

- 本資料は、のむら産業(株)の業績動向及び事業内容について、のむら産業(株)による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来の展望についても言及しております。
- これらの将来の展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。様々な要因により、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- のむら産業(株)の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来の展望と異なる場合がございます。
- 本資料における将来の展望に関する表明は、本資料開示時点において利用可能な情報に基づいてのむら産業(株)によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

のむら産業株式会社 管理部

Web : <https://www.nomurasangyo.co.jp/ir/>